

若手教員を対象とした理科実験(実習)研修会

参加費無料
レクリエーション保険付き

「他の先生は、どうやって実験をしているの?」「教科書通りに実験してもなぜかうましくない」「安心して実験できるように経験値を上げたい」といったご要望にお応えするために、「定番実験」を1台/人で実験(実習)する研修会を科学技術館にて開催します。



若手教員(在職10年以内)の先生方と講師と一緒に実験に取り組みます。

主催：公益財団法人日本科学技術振興財団

後援：東京都教育委員会、東京都中学校理科教育研究会

日時：2026年8月4日(火) 10:00~17:00

2026年8月5日(水) 10:00~17:00

2026年8月6日(木) 10:00~17:00

※各日9:30~受付開始いたします。

場所：科学技術館1F イベントホール

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2-1

対象：中学校理科教員(在職10年以内) 各日24名

参加条件：本研修会後、2027年2月末までに学校での成果結果を報告していただける方。

申し込み：下記申し込みフォーム(右：QRコード)にアクセスして必要事項をご記入ください。

登録ができなかった場合は、事務局までお問合せください。

<申し込みフォーム> <https://forms.gle/7tZ6W43kiTJqn91d8>

締切：2026年7月16日(木) ※先着順

本研修会では、理科の教科書に掲載されている定番となっている理科実験(実習)のことを、「定番実験」と呼んでいます。「定番実験」のコツ、失敗例、ちょっとした技法や小技(tips)を織り込みながら、安全・安心して実験できるノウハウを参加者のみなさまと情報共有できれば幸いです。ぜひご参加ください。



	8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)
対象	中学校1年	中学校2年	中学校3年
研修内容	力のつり合いとばねの伸びの関係(グラフの作成を含む)	電流と電圧の関係(直列、並列回路)	記録タイマーと力学台車
	凸レンズによる像のでき方・光学台	静電気と電流(真空放電と放射線利用)	科学技術と人間(エネルギー変換、放射線)
	酸素と二酸化炭素の発生とその性質	水に電圧をかけたときの変化	金属のイオンへのなりやすさ(ダニエル電池を含む)
	ロウの状態変化と体積・質量の変化	温度が変化する化学反応	電気泳動による酸・アルカリの実験(ピペットの使い方)
	セキツイ動物(煮干しの解剖)の観察	だ液のはたらき	細胞が分裂するときの細胞の変化(顕微鏡の取扱を含める)
	火成岩堆積岩(椀がけ)	空気の体積変化と雲のでき方(露点測定を含む)	地球の公転と見える星座の関係、月・金星の満ち欠け

※1日のみの参加も可能です。

※イベント会場までの交通費・宿泊費は参加者の負担にてお願いいたします。

※過去に受講されたことのある対象学年の研修会につきましては、ご遠慮いただく場合があります。ご了承ください。

公益財団法人日本科学技術振興財団 総務室付 エネルギー・環境プロジェクト

<問合せ> TEL:03-3212-8504 メールアドレス: scied@jsf.or.jp

本研修会では中谷財団の助成金を受けて実施しています。

